

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（シラバス別表）

## 診療放射線学科

授業年度	講義科目名称	開講期間	配当年	単位数	科目必修	担当教員名称	担当教員実務経験
2022	放射線物理学 I	後期	1	1	必修	今花 仁人	診療放射線技師・臨床年歴16年 診療放射線技師として知っておくべき放射線物理の基礎を講義する
2022	放射線物理学演習	後期	3	1	選択	延澤 忠真	臨床経験 診療放射線技師 5年6ヶ月
2022	放射線管理・計測学実験	前期	4	1	必修	桑山 潤 市川 真澄 上田 大輔 大川 浩平 加藤 真一 齋藤 亨子 延澤 忠真 山本 絵夢	診療放射線技師臨床経験年数： 桑山：15年 山本：5年 市川：13年 齋藤：11年1ヶ月 上田：5年 延澤：4年6ヶ月 臨床での実務経験をもとに、理論と実際についての実験を行う。
2022	画像機器工学実験	後期	2	1	必修	上田 大輔 秋葉 憲彦 今花 仁人 大谷 真由美 加藤 真一 齋藤 亨子 滑川 巨希 西澤 徹 延澤 忠真 山本 絵夢	診療放射線技師臨床経験年数： 西澤：臨床経験8年5ヶ月 齋藤：臨床経験11年1ヶ月 上田：臨床経験5年 秋葉：臨床経験14年6ヶ月 延澤：臨床経験4年6ヶ月 山本：臨床経験5年 今花：臨床経験16年
2022	放射線管理・計測特論	前期	2	1	選択	加藤 真一	臨床経験 診療放射線技師 5年6ヶ月
2022	画像機器工学 I	後期	1	1	必修	上田 大輔	診療放射線技師・臨床年歴5年 実務に即した知識・技能を修得出来る。
2022	基礎画像検査技術学実習	前期	2	1	必修	秋葉 憲彦 今尾 仁 大谷 真由美 須藤 英明 延澤 忠真 山本 絵夢	診療放射線技師臨床経験年数： 秋葉14年6ヶ月、大谷11年3ヶ月、上田5年、山本5年、延澤4年6ヶ月 臨床での実務経験をもとに、理論と実際についての実習を行う。
2022	放射化学 I	前期	1	1	必修	藤井 義大	臨床経験8年5ヶ月（主にX線撮影に従事。他にアイソトープを用いた実験研究の経験あり）

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（シラバス別表）

## 診療放射線学科

授業年度	講義科目名称	開講期間	配当年	単位数	科目必選	担当教員名称	担当教員実務経験
2022	画像検査技術学実習 I	前期	3	1	必修	佐藤 洋 秋葉 憲彦 大谷 真由美 川田 悟 齋藤 亨子 末永 光八 山本 絵夢	診療放射線技師臨床経験年数： 齋藤11年1ヶ月、佐藤23年3ヶ月、秋葉14年6ヶ月、大谷11年3ヶ月、山本5年 臨床での実務経験をもとに、理論と実際についての実習を行う。
2022	画像検査技術学臨床演習	前期	3	1	必修	桑山 潤	大学病院における15年の臨床経験を生かし、検査技術はもとより実践的な内容も含む講義となる。 通り一遍の書籍に記載している内容外に臨床現場ならではの実情を交える。座学と臨床の隙間を埋めることに力を いれる。
2022	画像工学 II	前期	2	1	必修	今花 仁人	診療放射線技師・臨床年歴16年 観察者実験及び視覚評価と統計的有意差検定に関して講義する
2022	画像検査技術学 II	後期	2	1	必修	桑山 潤 山本 絵夢	大学病院における臨床経験を生かし、検査技術学はもとより実践的な内容も含む講義となる。通り一遍の書籍に 記載している内容外に臨床現場ならではの実情を交える。桑山潤（15年）山本絵夢（5年）
2022	放射化学特論	前期	2	1	選択	藤井 義大	臨床経験8年5ヶ月
			合計	13単位			

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（シラバス別表）

## リハビリテーション学科理学療法学専攻

授業年度	講義科目名称	開講期間	配当年	単位数	科目必選	担当教員名称	担当教員実務経験
2022	理学療法技術論Ⅰ	後期	3	2	必修	浅岡 祐之 伊藤 芳保 理学療法学専攻 教員	理学療法士経験年数：浅岡祐之14年、伊藤芳保30年、平野恵健18年、矢嶋昌英16年、山口和人10年 急性期・回復期・慢性期の患者様を中心に、臨床業務に携わってきた教員により、対象者に必要となる機能面、能力面に対する基本的な理学療法知識・技術を講義する。
2022	物理療法学	前期	2	1	必修	伊藤 芳保	臨床を通しての整形外科的疾患や廃用性症候群に対する経験を基に、運動療法と物理療法との関係性について教科書で不足している知識・技術を補い授業をすすめていく。また、物理療法に必要な適応と禁忌および機器の安全な操作法について説明する。理学療法学士 臨床29年の経験
2022	地域リハビリテーション学	前期	3	2	選択	工藤 昌弘 森田 悠介 矢嶋 昌英	担当教員は訪問リハビリテーション事業所、介護老人保健施設での入所・通所リハビリテーション、市町村機能訓練事業などでの経験を有するため、それぞれの場面におけるニーズや対応の違いについて理解できる。実務経験：工藤昌弘32年、矢嶋昌英9年。
2022	内部疾患系理学療法学	後期	2	1	必修	伊藤 芳保	これまで一般病院など地域医療に携わってきた経験から理学療法士に必要な内部疾患系理学療法学について講義を行います。臨床経験8年間。
2022	機能・能力診断学演習Ⅰ	前期	2	1	必修	森田 悠介	資格：理学療法士、Golf Physio Therapy 臨床経験：17年 病院や施設での臨床経験を活かし、理学療法士に必要な検査測定技術について講義・実技を通して説明する。
2022	生活環境学	後期	3	1	選択	本橋 みどり	臨床では障害者・高齢者が入院から在宅生活へと移行するためには、退院時の家屋評価や住宅改修に対する助言と生活のマネージメントが必要である。部屋の縮尺図や自宅の平面図などの書き方を経験し、ペーパーベースメントに対して退院時に必要な具体的な改修案を立案し生活マネージメントを考えていくことを経験していく。臨床経験：29年
2022	スポーツ理学療法学	後期	3	2	選択	平野 恵健 浅岡 祐之 伊藤 芳保	理学療法臨床経験約13年における、一般病院・クリニックの経験から実技・講義を行う。
2022	生体観察と触診法	後期	1	1	必修	本橋 みどり 伊藤 芳保	理学療法を行う上で、基本的な触診技術が行えることはとても重要である。触診は、理学療法検査・治療に欠かすことができない。これらの触診技術を実際に行えるようにするために、健常者を対象に触診することができる。また、病態についても、一部触れながら知識を深めていく。 本橋：臨床経験28年 伊藤：臨床経験29年
2022	機能・能力診断学演習Ⅱ	前期	2	1	必修	山口 和人 平野 恵健	これまで、臨床現場で呼吸循環器系、中枢神経系、運動器系疾患を有する患者様および利用者様を担当してきました。これまで得られた知見を活かし、疾患や症状に合わせた検査方法の選定や評価の解釈についても紹介します。 山口：臨床経験8年、平野：臨床経験16年
2022	日常生活活動理学実	後期	2	1	必修	奥山 文男	臨床経験19年 日常生活活動の基本的な評価やADLの重要性を理解し、生活の視点を持てることを目指す。
合計				13単位			

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（シラバス別表）

## リハビリテーション学科作業療法学専攻

授業年度	講義科目名称	開講期間	配当年	単位数	科目必選	担当教員名称	担当教員実務経験
2022	作業療法基礎評価学	後期	1	1	必修	丸 達也 嘉成 望	経験年数：丸 達也 作業療法士 14年 嘉成 望 作業療法士 18年 リハビリテーションを実施する一般病院や高齢期障害の施設で様々な疾患・障害を有する対象者に作業療法を実施した経験を生かし、臨床現場で想定される場面に近い環境を設定しながら授業をすすめていくことができる。
2022	発達障害作業療法学	前期	3	1	必修	嘉成 望	経験年数：嘉成 望 作業療法士 18年 【臨床：10年 教員：9年目 尚、現在も臨床の現場で、発達障害児支援を実施している】 発達障害児・者を対象にしたリハビリテーション施設において、作業療法に関する臨床経験を有し、その経験を生かし、具体的で実践的な授業展開を行う。
2022	作業療法基礎評価学演習	前期	2	1	必修	丸 達也 嘉成 望	経験年数：丸 達也 作業療法士 14年 嘉成 望 作業療法士 18年 リハビリテーションを実施する一般病院や高齢期障害の施設で様々な疾患・障害を有する対象者に作業療法を実施した経験を生かし、臨床現場で想定される場面に近い環境を設定しながら授業をすすめていくことができる。
2022	地域作業療法学	後期	3	2	必修	徳永 千尋	地域には作業療法士の資格取得前から携わっており、免許取得後病院にて4年間、通所事業を30年以上おこなってきました。通所の他にも訪問、特別養護老人ホーム、有料老人ホームでの経験もあり、介護認定審査会の業務も行っています。 臨床経験8年
2022	発達障害作業療法学演習	後期	3	1	必修	嘉成 望	経験年数：作業療法士 18年 【臨床：10年 教員：9年目 尚、現在も臨床の現場で、発達障害児支援を実施している】 発達障害児・者を対象にしたリハビリテーション施設において、作業療法に関する臨床経験を有し、その経験を生かし、具体的で実践的な授業展開を行う。
2022	作業療法学総合 臨床実習Ⅱセミナー	前期	4	1	必修	本田 豊 石渡 香住 萩山 泰地 嘉成 望 小林 毅 田島 一美 徳永 千尋 西田 典史 丸 達也	本田豊（作業療法士9年）徳永千尋（作業療法士8年）西田典史（作業療法士16年）田島一美（作業療法士9年）石渡香住（作業療法士16年）萩山泰地（作業療法士7年）嘉成望（作業療法士10年）丸達也（作業療法士8年）担当する教員は、リハビリテーションの専門病院での臨床経験を有し、その際に実習学生の指導経験もあるため、実習オリエンテーションにおいて、実習生としてのマナー・態度、個人情報保護、リスク管理、感染症対策などの衛生管理について事前指導できる。また、学生が臨床実習で経験する臨床的思考過程や臨床技能について事前学修や症例検討会を通じて実践的に指導できている。
2022	神経障害評価学	前期	2	1	必修	小林 毅	この授業はオムニバスで進行する。それぞれの教員が担当する領域で、作業療法士としての臨床経験をもっている。それぞれの教員が、臨床でより重要なこと・心得ておくことよいことを交えながら、疾患の病態・評価・治療について講義していく。 （臨床経験年数：田島一美9年、萩山泰地10年、小林毅24年）

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（シラバス別表）

## リハビリテーション学科作業療法学専攻

授業年度	講義科目名称	開講期間	配当年	単位数	科目必選	担当教員名称	担当教員実務経験
2022	作業療法学見学実習 I	前期	1	1	必修	本田 豊	大学病院の作業療法士としての臨床経験を有し、その際に臨床実習指導者として実習学生の指導経験もあることから、実習での態度やマナー、個人情報保護、感染症対策としての衛生管理、医療専門職としてのコミュニケーションスキルについて講義や指導ができる。本田豊（作業療法士9年）
2022	運動学	後期	1	2	必修	西田 典史	西田典史：作業療法士、経験年数：26年 学童から高齢者までの幅広い年代に対する運動支援に携わってきた。それぞれのライフステージに応じた運動の特徴や運動支援の方法について幅広く理解できるように授業を展開していく。
2022	作業療法学概論	前期	1	1	必修	徳永 千尋	民間病院8年経験、教員生活も30年以上経過しました。区の通所事業には30年以上の経験があります。日本作業療法士協会の役員経験や、全国リハビリテーション学校協会、リハビリテーション教育評価機構での経験もあります。
2022	運動学実習	前期	2	1	必修	西田 典史 荻山 泰地 丸 達也	西田典史：作業療法士、経験年数：26年 荻山泰地：経験年数9年 丸達也：経験年数10年 学童から高齢者までの幅広い年代に対する運動支援に携わってきた。それぞれのライフステージに応じた運動の特徴や運動支援の方法について幅広く理解できるように授業を展開していく。
			合計	13単位			

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（シラバス別表）

## 看護学科

授業年度	講義科目名称	開講期間	配当年	単位数	科目必選	担当教員名称	担当教員実務経験
2022	フィジカルアセスメント	後期	1	1	必修	石田 清美 藤田 文子	経験年数：末永弥生：看護13年2ヶ月、吉江由美子：看護師21年7ヶ月、小倉久美子：看護師23年11ヶ月、鈴木晶子：看護師19年4ヶ月、谷口弥生：保健師10年3ヶ月、保健師・看護師としての臨床経験のある教員が、その経験をもとに授業をおこないます。
2022	成人看護学援助論 I	前期	2	2	必修	真野 響子 高野 直美	看護師の臨床経験をもちに講義分担を決め、理論に基づいた援助方法について講義する。 真野響子：看護師8年4ヶ月 土屋守克：看護師16年 古村ゆかり：看護師17年3ヶ月 高野直美：看護師11年9ヶ月
2022	社会福祉学	前期	2	1	必修	井上 直子	地方公務員30年の医療、福祉、保健分野の経験のある教員が実際の現場と理論をわかりやすくイメージしやすい授業を展開します。
2022	地域看護学概論	前期	2	2	必修	井上 直子 川込 あゆみ	保健師経験13年で培った経験と知識を基に、地域で働く保健師の具体的な活動に触れ、その時々 の地域住民等とのかかわりの実際を教育します。
2022	小児看護学概論	前期	2	2	必修	豊吉 泰典 亀田 芙蓉	豊吉泰典 看護師臨床15年及び小児救急看護認定看護師の活動を基として教育を実施 亀田芙蓉 看護師臨床6年の活動を基として教育を実施
2022	母性看護学援助論	後期	2	2	必修	平田 礼子 小山田 路子	助産師としての長年の実務経験を活かし、実際に経験した事例の話を交えながら講義をすすめます。 この科目は、母性看護学実習に繋がる重要な科目となるため、学生が実際に体験する母性看護技 術や看護過程の演習を取り入れ、学生が主体的に学ぶよう指導します。 風間みえ：助産師20年、平田礼子：助産師20年、小山田路子：助産師19年
2022	リハビリテーション看護学	前期	3	1	必修	古村 ゆかり	経験年数：伊藤芳保 29年（理学療法士） 徳永千尋 8年（作業療法士）病院、特別養護老人ホーム、区の機能訓練事業 古村ゆかり 17年3ヶ月（看護師）消化器内科、腎臓内科、血液透析室、整形外科 臨床での実務経験、他職種の専門性をもちにリハビリテーション看護学における理論と臨床実践
2022	高齢者看護学概論	前期	2	2	必修	中里 陽子	臨床経験18年5ヶ月の教員が、その経験を生かし教育いたします。
			合計	13単位			

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（シラバス別表）

## 臨床工学科

授業年度	講義科目名称	開講期間	配当年	単位数	科目必選	担当教員名称	担当教員実務経験
2022	医用機器安全管理学実習	後期	2	1	必修	水島 岩徳 梅澤 香織 椎葉 倫久 遠山 範康	経験年数：水島 岩徳 臨床工学技士 20年 遠山 範康 臨床工学技士 28年 梅澤 香織 臨床工学技士 7年 臨床での実務経験をもとに、医療機関の臨床工学部門における電気設備・医療ガス設備の保守点
2022	呼吸療法装置学	前期	3	2	必修	水島 岩徳	経験年数：水島 岩徳 臨床工学技士 20年 医療機関の救急・集中治療領域における生命維持管理装置の操作・保守点検業務に基づき、呼吸療法に関する講義を行う。
2022	生体計測装置学実習	前期	2	1	必修	水島 岩徳 梅澤 香織 上屋敷 繁樹 椎葉 倫久 遠山 範康	経験年数：水島 岩徳 臨床工学技士 20年 上屋敷 繁樹 臨床工学技士 22年 遠山 範康 臨床工学技士 28年 梅澤 香織 臨床工学技士 7年 臨床での実務経験をもとに、医療機関の救急・集中治療領域における各種ME機器の操作・保守点検業務に基づき、生体計測装置に関する実習を行う。
2022	医用治療機器学実習	前期	3	1	必修	水島 岩徳 梅澤 香織 上屋敷 繁樹 椎葉 倫久 遠山 範康	経験年数：水島 岩徳 臨床工学技士 20年 上屋敷 繁樹 臨床工学技士 22年 遠山 範康 臨床工学技士 28年 梅澤 香織 臨床工学技士 7年 臨床での実務経験をもとに、医療機関の救急・集中治療領域における各種ME機器の操作・保守点検業務に基づき、医用治療機器に関する実習を行う。
2022	医用治療機器学 I	後期	2	2	必修	遠山 範康 水島 岩徳 梅澤 香織 上屋敷 繁樹	経験年数：水島 岩徳 臨床工学技士 20年 上屋敷 繁樹 臨床工学技士 22年 遠山 範康 臨床工学技士 28年 梅澤 香織 臨床工学技士 7年 臨床での実務経験をもとに、医療機関の救急・集中治療領域における各種ME機器の操作・保守点検業務に基づき、医用治療機器に関する実習を行う。
2022	医用機器学概論	後期	1	2	必修	石田 等 椎葉 倫久 梅澤 香織 上屋敷 繁樹 遠山 範康	石田：臨床経験（臨床工学技士）25年 上屋敷：臨床経験（臨床工学技士）22年 遠山：臨床経験（臨床工学技士）28年 梅澤：臨床経験（臨床工学技士）7年 医療機関の手術室・集中治療領域における生命維持管理装置の操作・保守点検業務に基づき、生命維持管理装置および治療機器を中心として原理・構造を学び運用に役立てる。

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（シラバス別表）

## 臨床工学科

授業年度	講義科目名称	開講期間	配当年	単位数	科目必選	担当教員名称	担当教員実務経験
2022	体外循環装置学実習	後期	3	1	必修	遠山 範康 上屋敷 繁樹	臨床工学技士として、主にオペ室（特に人工心肺の操作）・カテ室・ICU・CCU・病棟・透析室における業務において28年の実務経験を持つ教員が、その経験と知識や技術を基に、人工心肺や補助循環に関連する知識や技術を身につけるために、実際に臨床現場で指導する技能を盛り込んだ内容で教授する。上屋敷：臨床経験22年
2022	生体計測装置学	前期	2	2	必修	水島 岩徳	経験年数：水島 岩徳 臨床工学技士 20年 医療機関の救急・集中治療領域における各種ME機器の操作・保守点検業務に基づき、生体計測装置に関する講義を行う。
2022	呼吸療法装置学実習	後期	3	1	必修	水島 岩徳 石田 等	経験年数：水島 岩徳 臨床工学技士 20年 石田 等 臨床工学技士 25年 医療機関の手術室、救急・集中治療領域における生命維持管理装置の操作・保守点検業務に基づき、呼吸療法装置に関する実習を行う。
			合計	13単位			

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（シラバス別表）

## 臨床検査学科

授業年度	講義科目名称	開講期間	配当年	単位数	科目必修	担当教員名称	担当教員実務経験
2022	医療放射線学概論	前期	2	2	必修	中谷 儀一郎 坂野 康昌 末永 光八 渡邊 城大	中谷：臨床経験34年診療放射線技師としてX線画像検査学(CTを含む)・診療画像検査技術学(エコー・眼底)・放射線治療検査技術学・放射線核医学検査技術学の業務経験を授業内容に生かしている。 渡邊：臨床経験32年診療放射線技師としてX線画像検査学(CT・マンモを含む)・診療画像検査技術学(エコー・MRI・眼底)の業務経験を授業内容に生かしている。
2022	検査機器総論（実習を含む）	前期	1	1	必修	伊藤 昭三 只野 智昭 宮崎 孝 渡邊 晃広	患者の血清中の免疫グロブリン量を測定、電気泳動で血清タンパクの分画を行い、多発性骨髄腫治療の支援を行っていた。
2022	医療情報処理演習Ⅱ（応用編）	後期	2	1	必修	小林 照明	臨床検査技師 41年0ヵ月 1976年（昭和51年）から、日本における初期段階の臨床検査室の検査システムの開発・導入に参画した。その後、オーダリングシステム、電子カルテシステムの導入にも参画した。これらの実務経験を基に授業を行う。
2022	微生物学	前期	1	1	必修	叶 一乃	臨床検査技師 32年6ヵ月 大学病院での臨床経験に基づき、微生物学の理論と臨床実践についての授業をおこなう。
2022	生理学実習	前期	2	1	必修	河西 美代子 菅原 佳奈子 鈴木 恒夫	臨床検査技師として臨床経験が豊富な講師陣により実習指導を行う。
2022	微生物検査学	後期	1	2	必修	叶 一乃	臨床検査技師 32年6ヵ月 大学病院での臨床経験に基づき、微生物学の理論と臨床実践についての授業をおこなう。
2022	医学概論	前期	1	1	必修	阿部 裕輔	医師としての臨床経験:20年 従事した診療科:一般外科、一般内科、総合外来、救急外来 臨床での実務経験をもとに、医学概論における理論と臨床実践について授業をおこなう。
2022	薬理学	後期	1	1	必修	木村 光利	製薬会社研究員 4年、治験審査委員会委員(薬剤師) 6年
	医用工学概論	前期	1	2	必修	渡邊 晃広	臨床工学技士(7年) 臨床経験に基づいて、臨床検査と医用工学のつながりについて授業をおこなう。
2022	画像検査学Ⅰ	後期	2	1	必修	中谷 儀一郎 河西 美代子 渡邊 城大	渡邊：臨床経験32年。臨床放射線技師としての臨床現場での超音波画像(エコー)検査の経験を活かして、分かりやすい講義内容を行い受講生の理解を深めます。
			合計	13単位			